令和５年度　那賀町議会議員視察研修報告書

●日時：令和５年１０月２３日（月）～１０月２４日（火）
●視察先：新宿区立落合第三小学校（東京都新宿区）／林野庁（東京都千代田区）
●参加議員：亀井　伸幸、髙木　健多、重　陵加、前田　貞好、野口　穂、静　好洋、
田村信幸、柏木　岳、連記　かよ子、久川　治次郎

【考察】

〇東京都　新宿区立落合第三小学校

新宿区立落合第三小学校を視察する。新宿区におけるプログラミング教育の取り組みで目についたのは、子供たちの「学びを広げる」ことをコンセプトに下記の５つの視点を重視する方針であった。

①課題解決を土台にした課題設定や振り返りを意識した授業
②ＩＣＴを活用した効果的な授業
③主体的・対話的で深い学びを支える【思考ツール】の活用
④教科を中心としたカリキュラム・マネジメントの確立
⑤プログラミング教育の実践

この取組みによる授業の負担を減らすパッケージ教材を導入した指定校の成果は、どの学年からも始められ、ステップアップしていくことができたことと、その上で、情報活用能力を観点別に整理して、発達段階に応じた「目指す子ども像」を整理できたことにある。

総務文教常任委員長　静　好洋

〇東京都千代田区　林野庁

森林環境譲与税の譲与基準見直しに係る税制改正要望に林野庁を尋ねました。森林環境税及び森林環境譲与税の制度設計などの説明を受けながら、本町林業の現況を話す機会を得たことは有意義であったと思います。

本町の基幹産業である林業が国策によって翻弄され、衰退してきた歴史は戻らないかもしれませんが、少しでも林業に国策として手を差し伸べてくれることを強く望むものです。

産業厚生常任委員長　久川治次郎

「森林環境譲与税の譲与基準見直しを求める意見書」を林野庁に提出しました。